

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質等の測定を実施しています。昨年10月から本年2月までの調査結果についても、これまでと同様、異常は認められませんでした。

調査結果の詳細については、「エコパークかごしま」のホームページに掲載しています。



観測井 No.1



阿茂瀬川



地域のホットな情報！

「エコパークかごしま」の近くに、「大原野池」という農業用のため池があり、春には満開の桜が水面に映え、とても美しい光景が見られます。

現在、薩摩川内市において池周辺の遊歩道等の整備が進められており、県が地域振興策として行う道路や河川の整備と相まって、「エコパークかごしま」周辺の憩いの場となりそうです。

場所は上の地図上の★印のところです。



平成29年4月撮影

【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町 6924 番地 11
TEL/FAX 0996-21-1220/0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当会社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。

編集後記

今年は、明治維新 150 周年の節目に当たり、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映をはじめ、県内各地で開催される「かごしま明治維新博」と銘打った様々なイベントなどを通じ、先人達の歩んできた幕末・明治維新の歴史や偉業を学ぶ機会が多い年になりそうです。
引き続き、皆様によりわかりやすい情報提供に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

エコパークかごしま通信

VOL.23

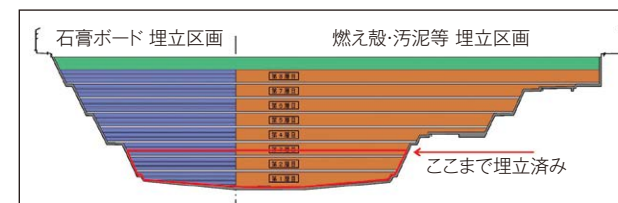


平成 30 年 3 月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

これからも安心・安全を第一に！



平成30年1月16日現在



平成27年1月(開業時)

「エコパークかごしま」は、本年1月で開業から4年目を迎えました。

現在、2層目(底面部から7mまで)の埋立が終了し、第3層目の埋立を行っているところです。

本年1月24日(水)に関係自治会や薩摩川内市等で構成するエコパークかごしま連絡協議会を開催し、廃棄物の搬入状況や地域振興策の進捗状況について報告を行いました。

これからも、安心・安全を第一とした施設の運営、廃棄物の適正処理に努めてまいります。



エコパークかごしま連絡協議会

廃棄物の受入状況について

平成27年1月の開業から本年2月末までに約8万1千5百トンの廃棄物の受け入れを行いました。内訳は、産業廃棄物が約6万1千4百トン、一般廃棄物が約2万1百トンとなっています。

廃棄物の種類ごとの割合は、多い順に、燃え殻が約36%、がれき類(廃石膏ボード含む)が約25%、汚泥が約20%などとなっています。

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物含む)	29,402.22	36.09
汚泥	16,118.69	19.78
廃プラスチック類	462.15	0.57
紙くず	163.61	0.20
木くず	4,875.72	5.98
繊維くず	186.32	0.23
動植物性残さ	64.59	0.08
ゴムくず	0.00	0.00
金属くず	4.52	0.01
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	5,877.13	7.21
鋳さい	75.52	0.09
がれき類	20,396.99	25.04
ばいじん(一般廃棄物含む)	3,397.82	4.17
13号廃棄物	446.81	0.55
合計	81,472.09	100.00

教えて？エコパーク先生！

こんにちは！今日はみなさんと産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の施設について勉強しましょう。



この写真は処分場を空から眺めた様子です。



「エコパークかごしま」の最大の特徴は、『覆蓋施設(屋根)』がついていることです。屋根があることで、ごみが風で飛び散ったり、においが施設の外に流れるのを防ぐことができるほか、天候の影響を受けず、安全に埋立作業が行え、ごみの分解に必要な散水が計画的に行えます。

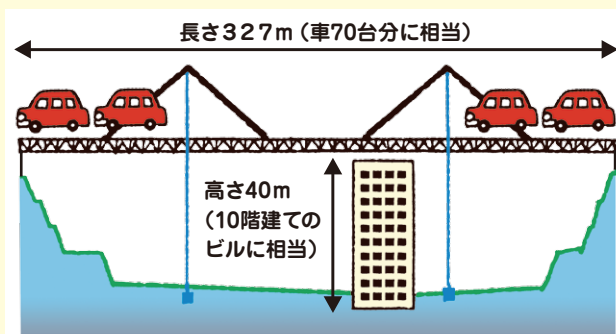


大きい屋根だね。どのくらいの大きさなの？



屋根の大きさ

「エコパークかごしま」は屋根つきの処分場の中で、『日本最大』の大きさ(屋根面積(約44,000㎡)は東京ドームとほぼ同じ!)をもっています。高さは処分場の底から40m、長さは一歩長いところで327mもあります。



大きくて立派な施設だね。屋根以外にはどんな特徴があるの？



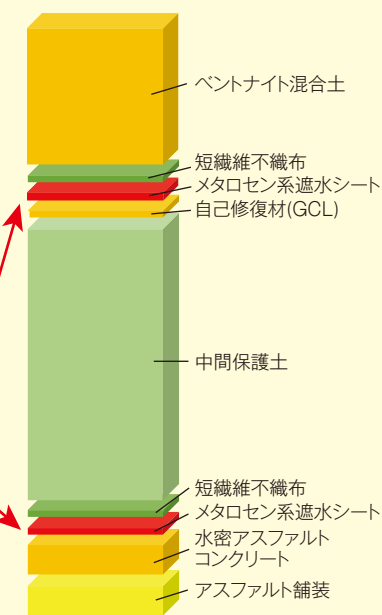
『多重の遮水機能を備えた、安心・安全な構造』となっています。

水を外に出さないしくみ

処分場の底は、右の図のように『遮水シート』や『ベントナイト混合土』などの水を通しにくい材料を何層にも重ねた構造となっており、ごみにふれた水が外に流れ出ないようにしています。



遮水シート

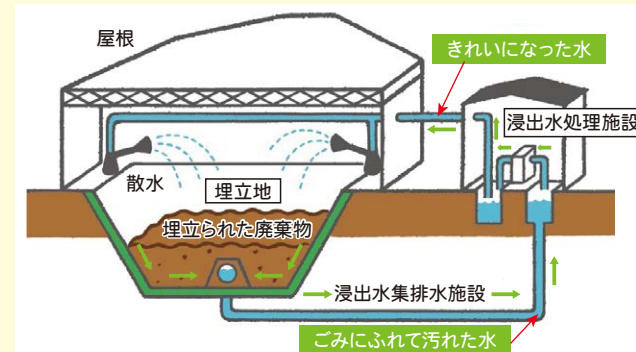


ほかにも、「エコパークかごしま」には、ごみにふれた水をきれいにする「浸出水処理施設」をはじめ、周辺の自然や環境を守るための施設がいろいろあります。



浸出水処理施設

ごみにふれた水から汚れを取り除き、きれいにする施設です。きれいにした水は、ごみにまく水として再利用(リサイクル)しており、外には出しません。



計量棟

ごみの重さを量ったり、ごみの種類を確認する施設



洗車設備

処分場から出てきた車についた汚れを洗い流す施設



管理棟

処分場の管理や環境学習などを行う施設



防災調整池

降った雨を貯めて、川へ流す量を調整する施設